

**NEWS RELEASE** [www.jogmec.go.jp](http://www.jogmec.go.jp)

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先： 管理・研修部研修企画課 宅間 TEL:043-276-9293  
 広報担当： 総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106

## 平成 27 年度産油国技術者研修等事業「第六期探鉱地質コース」実施 ～産油ガス国との友好的な関係構築に貢献～

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:河野博文)は、8月3日(月)から10月9日(金)の期間で、平成27年度産油国技術者研修等事業「第六期探鉱地質コース」を開講しました。本コースには、東南アジア、中央アジア、中東、アフリカ、中米の16カ国から19名の技術者が参加しました。

産油国技術者研修は、産油ガス国との人的交流及び協力関係の強化を目的に、各国政府機関や国営石油会社などから石油・天然ガス探鉱技術者等を日本に招聘し、技術センターを中心に実施しています。

今回は、通常研修「第六期探鉱地質コース」として約10週間、最新の情報及び知見に基づいた「構造地質学及びリモートセンシング」、「震探解釈」、「砂岩の堆積システム」、「碎屑性堆積物のシーケンス解析」、「炭酸塩貯留層地質」、「石油地化学」、「石油システム解析」等の講義と実習(ワークショップ)を行い、探鉱地質に必要な各種知識と技術の習得を目指しました。また、座学のみならず、新潟県内での油・ガス田訪問及び千葉県内の地層巡検等を行い、より実践的な知識の習得に努めました。

技術講義以外にも、日本語教室や日本文化の体験、研修旅行などを通じて、日本への理解を深めるとともに、日本に対する親近感、信頼感向上にも役立つ内容となっています。

本研修に参加した16カ国19名の技術者は、約10週に亘るコース期間を通し、熱心に講義に取り組み、数度設けられた研修生によるプレゼンテーションの場で、学習の成果が披露されました。

また研修修了時には、探鉱地質に関する技術や知識の習得とともに、国を超えての交流も行ったことで、研修生・講師・日本人職員間の貴重な関係構築の場として、研修生より本研修に対する高い評価を得ることができました。

JOGMECは、1989年に本事業を開始してからこれまで26年間にわたり、47カ国3,308名(本探鉱地質コース含む)に及ぶ技術者などの研修を行ってきました。研修事業による産油国の人材育成が明日の日本の資源安定供給に寄与するよう、今後も研修の強化・充実に努めてまいります。

### ■ コース概要

- 1) 名称 平成27年度産油国技術者研修等事業「第六期探鉱地質コース」
- 2) 実施期間 8月3日(月)～10月9日(金)(10週間)
- 3) 対象 産油ガス国の石油・天然ガス関連の政府機関、国営石油ガス会社等に属する中堅石油探鉱技術者等(東南アジア、中央アジア、中東、アフリカ、中米の16カ国、19名)

■コース写真



講義風景



千葉巡検



日本文化体験



修了式

<参考>

■ コースの種類

探鉱地質コース	地質データの評価、解釈のための各種技術の習得を目的とし、一般講義、ワークショップ(実践的講義)、地質巡検を実施する。
物理探鉱コース	三次元物理探査技術の活用による油ガス探査技術の習得を主たる目的とし、最新技術の講義、ワークショップ(地震探査データの処理・解釈の演習)を行う。
掘削マネジメントコース	坑井掘削の計画・立案能力及び実践的技術の習得を目的とし、基礎的知識・安全管理等の講義、掘削シミュレータを用いた訓練を行う。 (IADCによるWellCap Certificate取得※)
油層工学コース	油層の総合評価及び油層工学全般にわたる技術の習得を目的とし、油層解析等の講義、ワークショップ(油層シミュレーション)を行う。

※IADC (International Association of Drilling Contractors)による掘削現場における国際的資格。日本国内では、JOGMECのみが発行を認められている。